

青少協だより

平成29年10月15日
第56号
大歳地区青少年健全育成協議会
会長 馬越 帝介

「家庭教育ってなんだろう・・・」

大歳地区青少年健全育成協議会 会長 馬越 帝介

平素は、子どもたちの健全育成に向け、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今回は「家庭教育」について、文部科学省の記事を紹介します。

・・・家庭教育は、すべての教育の出発点・・・

家族のふれ合いを通して、子どもが、基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナーなどを身につけていく上で重要な役割を果たしています。

例えば、毎日の生活の一場面。皆さんのご家庭では、どのように過ごしていますか？

○いつも家族で「おはよう」「ただいま」「おやすみ」などのあいさつを習慣にしている。

○早寝早起きを心がけている。

○朝ごはんは家族一緒に食べる。

○学校での出来事などについて、子どもとよく話をする。

○テレビやゲームの時間などのルールを、親子で話し合っ決めていく。

家庭は、子どもたちが最も身近に接する社会。常に子どもの心のよりどころとなるものです。

少し立ち止まって、日常の家庭での生活を振り返ってみませんか。

・・・社会や地域に求められていること・・・

家庭教育はこれからの未来を支える子どもたちへの大切な贈り物です。

そして、子どもを育てることは、未来の日本を支える人材を育てる重要な営みです。

保護者の方々の頑張りに対して、地域社会や学校、行政、企業等も力を合わせ、子育て家庭の「支え」となり、社会全体で子育てや家庭教育を応援していくことが求められます。

第19回 大歳キッズフェスティバル

7/29(土)～30(日)

5・6年生の希望者88人が参加し、大歳小学校を会場に第19回キッズフェスティバルが行われました。

今年の活動の目玉は、「火おこし体験」「竹切体験」「竹飯体験」でした。

特に、試行錯誤を繰り返しながら運動場で火を炊いた「竹飯体験」は、子どもたちが大人になってもきっと忘れることのない貴重な経験になったことと思います。たくさんの保護者・地域の方々の事前準備や当日のご支援のお陰で、無事に終えることができました。

多くの大人が額に汗して、様々な活動の準備などを行っている姿を見て、子どもたちは何かを感じ取ったのではないのでしょうか。このような経験の積み重ねが、20年後、30年後も「ふるさと大歳」を愛し、「ふるさと大歳」で生まれ育ったことを誇りに思うことにつながるものと信じています。



活動の目玉 その1 火おこし体験

「火鑽具（ひきりぐ）」という道具を使って、火がおこるはずでしたが・・・。

全員が体験するため、わずかな時間でコツをつかむのは、難しかったようです。

活動の目玉 その2 竹切体験



大人に竹を持ってもらい、鋸をひきました。予想以上に鋸を上手に扱う子どもが多いのに感心しました。

切った竹は、夕食時のデザート（フルーツポンチ）を入れる器にしました。

フェスタ終了後は、思い出として各自家に持ち帰りました。

活動の目玉 その3 竹飯体験

竹飯用の竹加工やおがくず・薪などの準備は大人の方にさせていただき、いよいよ竹飯作りスタートです。

小枝やおがくずを準備していただいたお陰で、火は簡単につきました。飯盒炊飯は、子どもたちもチャレンジ学習で経験していますが、竹飯は初めての経験だったと思います。本当にすばらしい体験をさせてもらったことでしょう。

大人の方には、デザートフルーツポンチに入れる白玉を作っていました。



炊き上げた竹飯に、大人の方に作っていただいたカレーをかけてカレーライスをいただきました。ほどよく炊きあがっていたグループ、少々硬く再度炊き上げたグループと様々ありましたが、自分で切った竹の器によそったフルーツポンチと一緒においしくいただくことができました。

夕食後は、プールで1日の活動の汗を流し、グループごとに校舎のポイントで「大歳小クイズ」を解いていく学校探検をしました。このような機会でないことのできない夜の校舎。この体験も大きな思い出として心に刻まれたことでしょう。



保護者の皆様、地域の方々、猛暑の二日間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

・ ザ・チャレンジお百姓さん (田植え) 6月15日 (木)



子どもたちには、この貴重な農業体験を通じて、農業・農村に対する理解と関心を深めてもらうとともに、命の大切さや収穫の喜びを味わってもらいたいとの趣旨で行っています。大歳小学校近くの田んぼをお借りして、学校の総合的な学習と合同で実施しました。10月12日(木)には稲刈りも行います。



大歳小の5年生が、田植えをした田んぼです。

平成29年度青少協の活動計画

- 常任委員会 (事業内容の検討) 5月18日
- 総会 5月23日
- ザ・チャレンジお百姓さん (田植え) 6月15日
- 地撮り山口大歳 7月22日
- 大歳キッズフェスティバル 7月29・30日
- 夜間パトロール (夏休み期間中に3回実施)
- 「こども110番の家」のぼり配布
- 大歳ひろめ隊の活動実施
- 広報誌「青少協だより」の発行
- 「あいさつ運動」の啓発・普及
- 児童の安全対策の推進
- 各スポーツ少年団、大歳子ども太鼓、大歳ひろめ隊等への活動助成
- ザ・チャレンジお百姓さん (稲刈り) 10月12日予定
- 子ども講座の開催 (将棋教室 毎月1, 2, 3, 5土曜日 9:00~11:30)

青少協は地域の方々をはじめ、児童委員、スポーツ推進委員、大歳小・鴻南中教員、小・中PTA、スポーツ少年団関係者、警察関係者など、子どもの健全育成に関わるさまざまな立場のメンバーで構成され、子どもの健全育成に関わる様々な活動を行っています。